

# 未来のつばさ

## INDEX

P.2 2016年度自立奨学支援制度 選考委員会レポート

P.4 特集

## 未来へはばたく子ども達

- 近況報告のご紹介
- 「未来のつばさナビ」

P.6 団体向け支援事業

## 2016年度の支援状況をご報告いたします!

- 一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会
- ボランティアグループ おもいつき
- 特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター
- 特定非営利活動法人 手しごと屋豊橋
- 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会

P.8 財団トピックス

## メールマガジンを始めました!



Vol. 23  
2016.12



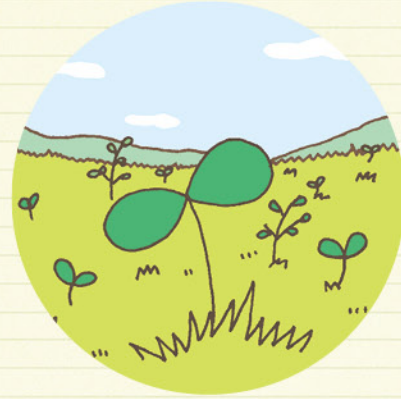
# 2016年度 自立奨学支援制度 選考委員会レポート

日本国内には多くの子ども対象の支援制度がありますが、高校卒業の就職者への支援は少なく、大学等の進学者向けの支援制度が一般的であります。就職者は社会の一員として労働を糧とし給与を得る為、支援の必要度が低く評価されているのも事実です。

しかしながら、新社会人となる子ども達には支援者となる近親者がいないケースが多く、新生活の準備に多くの自己費用が発生します。我々は自立（就職者）と奨学（進学者）を同等に援助する道を探りました。

ここで問題になるのが、援助希望者全員に援助が出来ない事です。支援金の財源は財団事業目的に賛同される個人また企業の寄付金ですが、財源には毎年限度が有り、何らかの選考による支援の優先度が避けて通れない問題となります。

その結果、平等に公平に選考することが毎年の問題となり、選考委員会が一番の問題事項となります。本財団の過去5年の支援実績は次の通りであり、この結果と改善点が議論され本年度の支援対象者の範囲拡大と選考方法のポイントが提言されました。



## 【支援実績】

年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	合計
応募者数	608	444	507	513	458	2530
支援者数	258	257	164	167	171	1017
支援率	42%	58%	32%	33%	37%	40%

## 【支援対象者の範囲拡大と選考方法のポイント】

- 従来の「申請者への質問」を「エントリーシート」とする。
- 申請児童は、「エントリーシート」に加え「アンケート」を提出する。
- 就職者と進学者の支援率を公平に同率とする。
- 障がい者の支援率を応募者数に合わせ算定する。
- 進学の条件を「通学」条件から「通信制」を含め申請可とする。
- 支援対象範囲を、従来からの範囲に加え、福祉系・医療系施設入所者も含める。  
※社会的養護環境の児童のみ。

## 選考委員会準備会議 2016年9月16日 開催

準備打合せとして、昨年度の審査委員を中心に今年度の選考方法を確認し、多くの提言とご意見をいただきました。主だったご意見を掲載いたします。

- 従来の申請書類の中で「申請者への質問」を「エントリーシート」とし、積極的に自分をアピールする形式は、本当の主張が聞けて良い。
- 内容について夢を書くことによって、自分の考えが整理できて、今まで漠然としていたことが、自分自身を見つめ直すきっかけとなる。
- アンケートがあると応募者の人物像が細かく分析できて、評価しやすい。
- 特に卒園後の住まい予定について知れるので良い。
- アンケートからエントリーシートではわからないその子の人物像や生活などを読み取りたい。
- 卒園後に集団教育に適応性を欠いていたり、または、昼間部よりも学費が抑えられること等から通信教育を受ける子が多くなったと聞く。条件にもよるが通信制学校を進学を含めることは賛成できる。
- これらの申請書の作成は、自分の将来を真剣に考える良い機会になる。応募がきっかけだと素敵だと思う。



## 2016年度 第1回選考委員会 2016年10月19日 開催

議題を中心に4名の選考委員によって開催され、議案は次の通り。

### 【議題】

- 2015年度自立奨学支援応募結果及び選考結果
- 2016年度自立奨学支援制度の確認
- 2016年度選考スケジュール確認
- 2016年度審査委員会設置の承認



### 【主な意見】

- 近年、就職と進学への支援率が大きく乖離している。同率にするべきではないか。
- 障がいを持つ応募者が増えたと報告されるが、支援率はどうか。
- 事業を5年続けるが、施設の利用率が単年で41%は、広報不足ではないか。
- 支援金以外の応援は出来ないか。
- 審査会は財団関係者チーム、協力員チーム、楽天命（グループ）ボランティアチームを設置承認する。
- 従来方法の複数審査員による評価点平均を選考に使用を承認する。

応募締切: 2016年12月20日(火)  
※締切日消印有効

ふるってご応募ください



# 特集

# 未来へはばたく子ども達

施設等を巣立っていった子ども達が、社会へ出てみて実感したその厳しさや楽しさ、また、多くの人に支えられているという現実について、感謝の気持ちを込め近況を届けてくれました。

## 念願の社会人になって思う将来の目標

●受注事務職 自立援助ホーム

7月に入り、ついに試用期間から正規社員になりました。念願の社会人として数ヶ月間働いてみて、自分が学生の頃思い浮かべていた理想の自分像とはほど遠く、周りの大人たちとの違いに思い知らされる、毎日が新しい発見の日々です。学生の頃、私は看護師になりたいと強く思っていました。そして、施設を出たときは妹とともに暮らす。そのためにはお金をたくさん貯めておかなければならないし、自分も安定した仕事に就いてなければいけない、そう思っていました。初めて経験する社会人、会社員としての厳しさを思い知った今、本当にまだまだ未熟なため、今は目の前のことを考えるので精一杯です。しかし、大人としての周りとの関係、学生の頃とはまた違う関わり方、それが本当に楽しいです。将来妹と一緒に暮らすための費用を貯めることを第一の目標とし、まずは、今の安定した仕事を続けながら、少しずつ焦らず自分の本当にやりたいことを探していければいいなと思います。



### 担当職員より

生活の場であるグループホームの職員さんとの関係も良好であり、何よりも会社内の人間関係に恵まれ、社会人としてのやりがいも話れるようになっています。給与もムダに使うことなく、貯金できており、妹の卒園を期に一緒に暮らすことを変わらず目標にしています。妹の関係も良好であり、週末は連絡を取り合い、一緒に出かけることもあります。

## 羽ばたいていった皆さまへ

# 「未来のつばさナビ」

—あなたはひとりじゃない—

今回より財団では、近況報告を提出していただいたみなさんに、「未来のつばさナビ」をお送りしています。



みなさんからいただいた近況報告には、それぞれに一生懸命頑張っている姿が見えます。それでも、壁にぶつかってひとりで悩んでしまうこともあると思います。そんなとき、「未来のつばさナビ」が小さな支えになればらとお届けさせていきたいと思います。

自分のペースで頑張ってください。

## 専門学校に進学して今感じること

●医療技術専門学校臨床工学科  
ファミリーホーム措置延長

私は現在専門学校に進学し、ファミリーホームに住んでいます。18歳で自立をしなければならいのですが、措置延長という制度を使い1年間ファミリーホームに住むことを決めました。学校での前期が終了して感じたことは、今までとは何かも違うこと。専門学校に入学してからは、勉強をはじめ生活態度を見られ、やる気が無い人は切り捨てられる、そんな環境でした。医療系という難しい勉強の中、初めて取り組む単元など、人より知識が劣っているのが現状でした。テスト前に勉強をしても自分が満足できる結果は出せませんでした。今回の反省点を見つけ、次の機会を活かしていきたいと思っています。ファミリーホームの生活では、一人暮らしができるよう日々訓練しています。毎日の3食を自分で用意したり、学校で食べるお弁当を作ったり、料理のレパートリーを増やしたり、できることを確実に増やしていこうと思います。半年間過ごしてみて、まだまだ課題点はありますが、私なりに頑張っていこうと思います。



### ホーム長より

高校時代とは異なる専門教科が始まり、学校から戻るとどんな教科の勉強をしているのか、どんなことを学んだのかを教えてください。学校への出席状況は遅延以外に遅刻・欠席もありません。学業とアルバイトの両立をなんとかこなそうと頑張っています。前期テストのための勉強では、分からないところは友達に聞くなど、新しい友達とのつながりもでき、休日は友達と時折遊ぶことも見られ、充実した日々を過ごしています。

## 庭師として早く一人前になりたい

●造園業 一人暮らし

私は現在、造園業で毎日仕事に励んでいます。住んでいるところは、熊本地震の影響も大きく、勤務し始めた頃は、毎日の余震もひどかったので、心細く感じることもありました。現在は、復興に関わる作業とともに、本業である庭作り作業にも力を入れ、暑い中頑張っています。最近では、休日を利用して高校のときにやっていた陸上・砲丸投げの練習に参加するため、また、地元の様々な行事に参加するため、帰省する機会が多いです。先日、卒園した養護施設に顔を出した際、施設の花壇の手入れを先生たちと一緒にこない、とても喜んでくださいました。今後も、時々地元に戻り、元気な姿を先生たちに見せ、そして庭師として早く一人前になり、後輩たちに尊敬してもらえるように頑張ります。

### 担当ケアワーカーより

毎年参加していた地元のある大会に今年も参加するため、時間を見つけては地元に戻ってきて練習に参加していました。また、陸上砲丸投げの練習も続けていると聞きました。仕事の造園業では、まだまだ見習い業務のようですが、真っ黒に日焼けした姿を見る限り、毎日暑いで精を出しているのだと思われます。先日、帰省した際、施設内の花の手入れを施設職員たちとともに取り組んでいました。まだ頼りない庭師のたまごでしたが、これから一人前の庭師になって、施設内の庭整備を任せられるようになることを期待しています。



## “すぐに相談できる人がいる”ということ

●私立大学食物栄養学科 一人暮らし

大学生になり、施設で生活していたときは大きく変わりました。実際に一人暮らしをしてみて、施設職員の方達のありがたみを身に染みて感じています。私が施設で生活していたときは、大体のことは職員の方達がやってくれるし、何か困ったことがあれば、すぐに話すこともできました。しかし、一人暮らしをしてからはすべて自分でやらなくては行けないのです。特に私が一番大変だなと感じたことは、手続き関係です。本当に何もかも初めてのことでばかりで、とても苦労しました。しかし、このような困ったときに親身なって相談に乗ってくれたのは、それまで何年間も一緒に生活してくれた職員の方でした。どんなささいなことでも真剣に聞いてくれて本当に助かりました。そして感じることは、すぐに相談できる人がいるということです。今の私にとって施設の職員の方達はとても必要な存在です。施設を出た後もこういう風に何でも話したり相談できる関係があるのってありがたいし、素敵なことだと思います。



### 担当職員より

大学生生活のスタートとともに、本人は一人暮らしを始めています。アルバイトをしながら勉学に励む日々は、決して楽なものではありませんが、中でも本人はめげずに前に進んでいっています。ときには勉強について、人間関係について悩み苦しむこともありますが、持ち前の明るさと素直さで多くの人と触れ合いながら、一つひとつ壁を乗り越えていっています。



# 2016年度の支援状況をご報告いたします！

本年度は応募受付を前期4月～5月、後期9～10月といたしました。  
選考にて前期5件の団体の支援が決定いたしました。

## 全国の子ども達との交流

### 第11回 全国ファミリーホーム研究大会 in 横浜 (キッズ・ユースプログラム)

全国から2日間にわたり述べ60名のユース年代(15歳～29歳)、358名のキッズ年代(0歳～15歳)が集まり多数のボランティアスタッフと共にそれぞれ活発に活動を行いました。

ユースプログラムでは日頃は交流することのない高校生年代やそれ以上の子ども達がワークショップでは自立について話し合ったり、クルージング懇親会ではゲームなどを楽しみました。班対抗ボウリング大会では景品をもらうために協力して盛り上がったようです。最後のワークショップでは「大人に伝えたい事」をたくさん書きだしそれを大会閉会式で大人の前で発表しました。キッズ世代ではカップラーメンミュージアムの見学や体験、魚釣りゲーム、横浜大道芸のパフォーマンス観覧の三本立てで楽しみました。外出が出来ない年少児向けにはミニカップヌードル作り体験を行い、お絵かきをしたりと夢中でした。2日目は八景島シーパラダイスへ出掛けました。

2日間の交流でしたが子ども達にとっては一生の思い出になるプログラムになったと思います。

一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会



家庭養育の充実を  
ファミリーホーム運営者ら議論  
【11月19日(土)】ファミリーホーム運営者らによる「家庭養育の充実を」をテーマとした全国研究大会が横浜市中区で開催された。全国から約60名のユース年代(15歳～29歳)と358名のキッズ年代(0歳～15歳)が集まり、多数のボランティアスタッフと共にそれぞれ活発に活動を行った。ユースプログラムでは日頃は交流することのない高校生年代やそれ以上の子ども達がワークショップでは自立について話し合ったり、クルージング懇親会ではゲームなどを楽しみました。班対抗ボウリング大会では景品をもらうために協力して盛り上がったようです。最後のワークショップでは「大人に伝えたい事」をたくさん書きだしそれを大会閉会式で大人の前で発表しました。キッズ世代ではカップラーメンミュージアムの見学や体験、魚釣りゲーム、横浜大道芸のパフォーマンス観覧の三本立てで楽しみました。外出が出来ない年少児向けにはミニカップヌードル作り体験を行い、お絵かきをしたりと夢中でした。2日目は八景島シーパラダイスへ出掛けました。2日間の交流でしたが子ども達にとっては一生の思い出になるプログラムになったと思います。

## 成長を促す前向きな姿勢を育む

### 児童養護施設の子ども達の貧困の連鎖を食い止める 『希望のゆりかご』プロジェクト事業

児童養護施設の子ども達は、施設職員の支援で集団生活を送っていることから、家庭対象の事業に参加しにくい状況にあり、施設独自の取り組みとしてこれらの事業を実施する必要があります。中でも、子ども達の学習意欲や成長意欲の基本である好奇心・向上心・調べる力や聞く力など、前向きな姿勢(生きる力)を施設にいる間に育んでおくためのプログラムは最も必要であると考えます。

- ◀実施内容▶
- ①施設にいる小学生にダンスを教え、2月中旬の発表会に参加できるよう継続指導をします。
  - ②施設にいる小学生に、自由参加登録制の卓球クラブ・昔あそびの指導を継続的にを行います。
  - ③施設にいる中学生の学習、進路(進学)の相談を受け、助言、必要に応じて学習指導します。

特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター



## 子ども達を正しく理解し、触れ合うために

### 児童養護施設の子ども支援にかかわる支援者の養成講座開催

交流を契機として始まった学習支援活動も3年目となります。

子ども達の多くは、小さな体に大きな心の傷を抱えており、子どもが示す態度や行動への対応に戸惑いがちです。支援員が、子ども達の置かれてきた環境やその行動が示す意味について正しく理解し、配慮して触れ合うための学習機会と支援員同士の交流が求められています。

- ①-1 支援員及び子育て支援にかかわる地域住民(子ども達が通う小学校教諭・児童養護施設職員も含む)を対象とする支援員養成演習～経験豊かな専門家による演習～
- ①-2 子ども達との交流会を通して行う支援実習
- ② 4回の支援員養成演習における講義の内容と参加者の感想をまとめて冊子を作成します。参加者に配布するとともに、今後支援員として参加する方の学習資料とします。

特定非営利活動法人 手しごと屋豊橋



## 子ども達の健やかな成長を願って

### 児童養護施設に暮らす子ども達を、 夏の臨海行事へ連れて行く事業2016

2016年度の事業では、都内及び千葉県の児童養護施設14施設から児童99名、教職員62名、そしてボランティア49名が参加して、8月1日から5日まで実施。それぞれ2班に分かれて2泊3日ずつ滞在しました。期間中の主なアクティビティは、①海水浴、②レクリエーション(室内ゲーム、紙芝居、歌の時間)、③肝試し、④磯遊び、⑤スイカ割り、⑥キャンプ・ファイヤー、⑦施設ごとの出し物、⑧花火大会と、大変盛りだくさんののが伝統となっています。

また、参加児童の年齢上限を小学校3年生に定めており、該当する児童には記念の賞状や品物を贈呈するなど、大切な思い出として長く残るよう、様々な工夫を凝らしていることも、この事業の特徴です。このように、私たち「ボランティアグループおもいつき」の事業は、子ども達の健やかな成長と、信じるに足る大人の存在に気付く一助になるものと確信しています。

ボランティアグループ おもいつき

## オレンジのたすきをつなげよう

### 第10回 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー 2016

10月30日(日)、子ども虐待防止の啓発を目的とした「第10回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー2016」を開催しました。川崎コースを新設し、各区10～20名のランナーがオレンジ色のたすきをリレーでつなぎゴールしました。スタート地点、各中継所ではオレンジリボンを市民に配布する他、様々な団体が協働して啓発キャンペーンを行いました。また、全国で行われているたすきリレーをネットワーク化し、ホームページでの情報発信や、たすきをつなぎあうことで子ども虐待防止の啓発をより一層推進したいと考えています。さらに、10周年企画事業として、「祈りのFriendshipキルト」を鎌倉高德院(大仏)に奉納いたしました。

子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会





# 財団トピックス



## メールマガジンを始めました！ 「つばさニュース」

支援活動の最新情報やご報告をお届けさせていただきます。

楽天 未来のつばさメールマガジンの配信希望者を募集しております。  
社会的養護の環境下にある子ども達への支援活動に関心のある方々へ、  
「つばさニュース」としてホットな情報を月1回お届けいたします。  
是非、財団ホームページからご登録ください。  
スマートフォン、パソコン、タブレット端末にて閲覧いただけます。



### 11月のラインナップ

- 【自立奨学支援】受付開始、選考委員会開催報告
- 未来のつばさナビのご紹介
- 書き損じはがきキャンペーンのお知らせ
- 児童虐待防止推進月間です・・・過去5年の標語紹介
- 子どもたちからの報告を紹介



# ホームページをぜひご覧ください

## 公益財団法人 楽天 未来のつばさ

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介します。

楽天未来のつばさ

<http://mirainotsubasa.or.jp/>

